

危険物取扱者 [乙種・性消(第2類危険物)・正誤(3)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第2類の危険物は酸化剤と接触すると発火しやすくなる。【 】
- (2) 第2類の危険物はすべて電気の良導体である。【 】
- (3) 第2類の危険物で可燃性蒸気を発生するものは密封して貯蔵する。【 】
- (4) 第2類のすべての危険物は、ハロゲン化物消火剤による消火が有効である。【 】
- (5) 硫化リンは加水分解すると可燃性ガスを発生する。【 】
- (6) 赤リンは二硫化炭素によく溶ける。【 】
- (7) 硫黄は黄色の固体もしくは粉末である。【 】
- (8) 硫黄は水に溶けない。【 】
- (9) 鉄粉は酸化剤として利用される。【 】
- (10) 金属粉の消火方法として、強化液消火剤の放射は適している。【 】
- (11) アルミニウム粉は二酸化炭素中で加熱すると燃焼する。【 】
- (12) 亜鉛粉は空気中に浮遊すると、粉じん爆発を起こすことがある。【 】
- (13) 亜鉛粉は酸性溶液中で表面が不働態となるため、反応しにくい。【 】
- (14) マグネシウム粉は高温でも窒素とは反応しない。【 】
- (15) 引火性固体は常温の空气中で徐々に酸化し、発熱する。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第2類危険物)・正誤(3)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第2類の危険物は酸化剤と接触すると発火しやすくなる。 【○】
酸化剤と接触すると発火しやすい。
- (2) 第2類の危険物はすべて電気の良導体である。 【×】
硫黄は電気の不良導体である。
- (3) 第2類の危険物で可燃性蒸気を発生するものは密封して貯蔵する。 【○】
密封して貯蔵する。
- (4) 第2類のすべての危険物は、ハロゲン化物消火剤による消火が有効である。 【×】
適応しないものがある。金属粉など。
- (5) 硫化リンは加水分解すると可燃性ガスを発生する。 【○】
加水分解すると可燃性ガスを発生する。
- (6) 赤リンは二硫化炭素によく溶ける。 【×】
二硫化炭素に溶けない。
- (7) 硫黄は黄色の固体もしくは粉末である。 【○】
黄色の固体もしくは粉末である。
- (8) 硫黄は水に溶けない。 【○】
水に溶けない。
- (9) 鉄粉は酸化剤として利用される。 【×】
還元剤として働く。
- (10) 金属粉の消火方法として、強化液消火剤の放射は適している。 【×】
水系の消火剤は不適。
- (11) アルミニウム粉は二酸化炭素中で加熱すると燃焼する。 【○】
二酸化炭素の酸素原子と反応して発火する。
- (12) 亜鉛粉は空気中に浮遊すると、粉じん爆発を起こすことがある。 【○】
粉じん爆発を起こすことがある。
- (13) 亜鉛粉は酸性溶液中で表面が不働態となるため、反応しにくい。 【×】
酸に溶けて水素を発生する。
- (14) マグネシウム粉は高温でも窒素とは反応しない。 【×】
高温で窒素と反応し、窒化マグネシウムとなる。
- (15) 引火性固体は常温の空気中で徐々に酸化し、発熱する。 【×】
空気中で徐々に酸化することはない。